右京区役所 ☎861-1101（代表）
〒616-8511 右京区太秦下刑部町12番地
http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/
区役所ホームページ、Facebook
常時更新中！
インターネットテレビ「右京コミュニＴＶ」も
ぜひのぞいてみてね！
右京区役所 検索
右京区役所 Facebook

Uネットはいつも「笑顔」と「元気」でおもてなし

市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール
受付時間　午前８時～午後９時（年中無休）
☎ ６６１－３７５５、FAX ６６１－５８５５
電子メール（以下のホームページから）
パソコン　http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html
携帯電話　http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/

右京区まちづくり支援制度支援事業活動中！

◆森の木から人力の道具だけで作る木工教室（杣人工房嵯峨・木のこゝろ『風』）

この団体では、北山杉の良さを知っていただく活動に取り組んでいます。

今回のイベントでは、森の木をただひたすら削って、削って、削ります！難しいことは何もありません。

みんなで楽しみながら道具の使い方を学び、簡単な小物を作ります。

日時　2月15日(土)午前10時～午後3時頃
場所　区内(お問い合わせください)
講師　小野　敦(NPO法人グリーンウッドワーク協会)
参加費　千円(材料費、保険料含む)
※昼食は各自ご用意ください。
対象　小学生以上(小学生は保護者同伴)
定員　10名(申込順)
申込方法　2月8日(土)までに電話またはFAXで
問嵯峨・木のこゝろ『風』
☎881・6868 FAX 861・4188

グリーンウッドワークイベントの様子

平成25年度は、まちづくり支援制度を活用し、「子ども110番の家」やAED設置箇所などの重要な情報を記載した「見守り・絆マップ」を全世帯へ配布するとともに、花園学区の様々な情報を掲載している「花園瓦版」の内容を充実し、年6回、全世帯に配布しました。さらに、防犯・防災啓発用の幟を作成するなど、より安心・安全を実現するための取り組みを進めています。

◆右京区に在住する障がい児の放課後支援（京都光華女子大学　光華子ども遊び隊）

右京区に在住する障がいをもつ児童・生徒に対して、学生が放課後に一緒に遊ぶことで、豊かな人間関係の広がりを体験する機会の提供、保護者への支援、地域の障がいに対するノーマライゼーションの理念に基づいた理解への啓蒙活動などを行っています。

メンバーは、主にキャリア形成学部の社会福祉に関心のある学生約10名。西総合支援学校で実施されている「わくわくクラブ」と協働したり、同大学の華羅紅と共に体操や楽器作り、演奏会も実施。

「障がいのあるなしに関わらず、同じ地域に住む者として、子どもたちの笑顔を見たり、保護者の方とお話して楽しい時間を過ごすことができて嬉しい」と話す学生にとっても学びの場となっています。

今後は、参加者や後輩の参加を積極的に促し、活動の拡大を目指します。

ボール遊びの様子

うれしいニュース

西院第一・第二学区合同で清掃活動！

毎年10月に開催される春日神社のお祭りの際に、学区合同による清掃活動が行われているのをご存じですか。

お祭り開催中、四条春日の交差点から三条春日の交差点までの約400mが歩行者天国となり、たくさんのごみで溢れます。

このために立ち上がったのが、西院第一、第二学区の自治連合会、少年補導委員会、西院小・中学校PTAで構成する「西院青少年育成連絡協議会」の皆さん。20個のごみ箱を設置し、約50名体制で1時間ごとにごみ袋を回収。2日間で約200袋ものごみ袋が回収されるそうです。子どもたちへの声掛けなど、パトロールも行い、まちの安心・安全にも貢献されています。

学区が分かれていても、子どもたちが通う小・中学校は同じ。同協議会も学校運営協議会発足をきっかけに生まれ、学区間交流の基盤となってきました。

同協議会の村田会長は、「子どもにとって学区の違いは関係ない。第一と第二が一体となり、地域の環境や子どもたちの安全を守っています。一緒にやることで、第一と第二が近くなった気がします。」と活動への思いを語ります。西院地域では、この活動の他にも、金魚つかみ大会や魚釣り大会、子育て支援などを学区合同で実施されています。

学区の枠を超えた絆や連帯感、地域への意識が育まれるすばらしい取り組みですね。

西院青少年育成連絡協議会
村田徹会長

エコまちステーションが行く！ 第18回

暖房などによりエネルギー使用量が増える冬。ガスや灯油を使うため、二酸化炭素の排出量も冬がもっとも多くなっています。暖房だけでなく給湯(風呂など)も冬は水温が低いため、エネルギーをより多く使うことになります。

身の回りのできることから環境にやさしい冬のライフスタイルに取り組みましょう。

- ●重ね着をする
- ●窓に断熱シートを貼る
- ●根菜類、しょうがなどを食べて体の中から温める

11月号のクイズの正解は
水キリでした！
たくさんのご応募
ありがとうございました！

問右京エコまちステーション
☎366・0190

発見！自治会・町内会のス・テ・キ ⑰

地域活動でつながりづくり！西一ノ井町内会（太秦学区）

一ノ井町は、東・中・西に分かれています。そのうち、148世帯が加入する西一ノ井町内会で、会長を務めて2期目となる久保会長にお話を伺いました。

■町内会の組織について教えてください。

13組が4ブロックに分かれていて、副会長は各ブロックから選出され、会長はブロックの輪番。副会長は地蔵盆、祭礼、福祉、交通(防災・防犯)委員長をそれぞれ担ってくれています。いずれも任期は2年。副会長はできるだけこれまで経験したことのない方を推薦してもらっています。みんなが町内に関心を持つことができるのでとても良いことだと思っています。役員の苦労を知ると、「次の人にも協力しよう」という思いが芽生えると思うんです。

■どんな行事がありますか。

どの行事も各委員長が頑張ってくれていますよ。8月の地蔵盆は、子どもだけでも約40人、10月の神社のお祭りは前夜祭から約100人も集まる盛大なものです。

新しい人が越してきたとき、なかなか地域の輪に入りづらいこともあると思うんです。行事ごとが、そういう方にとって地域の輪に気軽に入る良い機会になればと思います。普段道ですれ違うとシャイな子どもも、行事のときは元気に挨拶してくれるので嬉しいですね。

■会長をして良かったことはありますか。

私の会長としてのモットーは、頼まれごとには「はい、喜んで」という気持ちで「必ずその日に対処する」というものです。会長の仕事は多種多様のため、すぐに解決できることばかりではないですが、やっぱり感謝されると嬉しいですね。責任の重さや大変なこともあるけれど、それだけのやりがいを感じています。4名の副会長と組長、そして町内の皆さんの協力があればこその私です。仕事や子育てで忙しい中、一生懸命務めてくれたことに本当に感謝しています。地蔵盆や祭礼を若い人が中心になって頑張ってくれたのも嬉しかったですね。

■今後、どのような町内会にしていきたいですか。

地域で継承されてきた行事を守るためにも、若い人に役を担ってもらいたいです。幸い、若くてやる気のある役員さんが多いんです。今後、若い力がどのように受け継ぎ、盛り上げていってくれるか楽しみ。もちろん私も協力していきたいです。

■最後に一言！

町内会活動がなければ、人とのつながりも薄れてしまう。行事のたびに話したり、協力し合うことは大変なこともあるけれど、つながりが維持され、安心して住める町内づくりになると思います。人と関われることを「楽しい」と思いながら、これからも一生懸命会長を務めていきたいです。

太秦学区西一ノ井町内会
久保美喜子会長